

学校法人 上智学院

1

セミナー開催までの経緯

本学では、福利厚生の一環として、2014年から年に一度教職員生涯福祉財団の協力を得て、生涯生活設計セミナーを開催しています。

事業主として教職員の将来を考え、よりよい情報をいち早く提供する方法について長年模索してきました。

しかし、退職後の生活設計の提案に際しては、表現に工夫を要するところであり、なかなか実現できずにおりました。

本セミナーの開催当初は、対象者を定年退職に絞り、個別に案内をしていました。

近年、「人生100年時代」ともいわれ、新しい働き方・生き方を見直す必要がある中、対象を全教職員へ拡大し、退職間近の年代だけに関わらず、若い世代の人にも受講ができるようにしました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い2020年の対面セミナーは、見送ることになりましたが、対面型に代わるWEB版セミナーを2021年より再開いたしました。

2

開催までのスケジュール

2021年 5月	／財団への申込み
2021年 7月	／受講希望者を学内WEB掲示板で募集
2021年 8月	／財団へ参加人数報告
2021年 9月	／財団より送付された資料を各受講者へ配布
2021年 10月5日 ～25日	／オンラインセミナー開催

オンラインでのセミナー実施は初めてでしたが、場所の確保や時間、日程調整についての制限を受けることもなく、準備する側としては効率的に準備することができました。

3

令和3年度セミナー実施概要

①「WEB版生涯生活設計セミナー」(退職準備型)

対象層：50歳代半ば～退職前

【プログラム内容】3部構成

- ・「退職後の健康プラン・生きがいプラン（約60分）」人生100年時代といわれるようになった現在、退職後の長い人生をいかに健康でいきいきと過ごすかを一緒に考える
- ・「公的年金・退職後の医療保険（約60分）」退職後の大切な定期収入源である公的年金の概要と退職後の公的医療保険について解説
- ・「退職後の経済生活プラン（約60分）」退職後に向けた経済生活設計の必要性や家計収支をチェックする「経済生活設計表」の作成方法、貯蓄や退職金など将来に向け資産寿命をいかに延ばすかなどについて

②「WEB版生涯生活設計セミナー」(若手向け)

対象層：20～30歳代

【プログラム内容】2部構成

- ・「経済生活にかかわる基礎知識（約60分）」資産運用や保険加入、ローンやクレジットなどの金融、お金にかかわる基礎知識を解説
- ・「福利厚生制度の基礎知識とこれからの経済生活プラン（約60分）」共済組合の福利厚生制度や医療保険制度、公的年金などの基礎知識やこれからの家計収支に役立つ「経済生活設計表」の作成・活用方法について解説

学校法人上智学院は、上智大学、上智大学短期大学部、栄光学園中学高等学校、六甲学院中学校・高等学校、広島学院中学校高等学校、上智福岡中学高等学校から構成され、"for Others, with Others" (他者のために、他者とともに生きる) をモットーに掲げ、キリスト教ヒューマニズムに立脚した教育、研究、社会・国際貢献を展開しています。加入している社会保険制度は、日本私立学校振興・共済事業団です。



視聴時期 / 開始日:2021年10月5日(火)
終了日:2021年10月25日(月)

視聴方法 / 受講希望者へIDとパスワードを配布し、各自ログインして視聴

その他 / 職員は、受講時間を勤務時間として取扱いました。

※周知方法は、学内WEB掲示板へ掲載

4

参加者の反応・アンケート結果

参加者のアンケートは次のとおりでした。

- ・ちょうどよい年齢で受講することができてよかった。老後に向けての資産運用も今からできそうです。
- ・内容が多岐にわたり、一度見聞きしただけでは、理解ができない部分があった。
- ・家計を見直す良いきっかけとなった。
- ・資料の文章を読んでいるだけで、わかりやすい説明ではないと思いました。
- ・年金のところをもっとわかりやすく教えてほしい。
- ・オンラインセミナーで助かりました。
- ・視聴期間がもう少し長いと助かる

さまざまなご意見をいただきましたが、おおむね好評でした。この結果を受けて、次回につなげていければと考えています。

5

今後の課題

今回初めてオンラインでのセミナーでしたが、対面に比べ、好きな時間帯で受講ができるため、忙しい教員にも多く参加していただけるだろうと100人程度を予想し

ていましたが、生涯生活設計セミナー（退職準備型）については、30人、生涯生活設計セミナー（若手向け）は、12人、のみの参加者となりました。

周知方法は、学内のWEB掲示板へ掲載としました。財団へセミナー資料送付数を報告するため、ある程度の受講者人数の把握が必要であったため、受講者の募集締切を2か月程前としましたが、締切から受講までの2か月間で再度募集を行ってもよかったのかと思います。

しかしその一方では、毎年セミナー終了後に、退職金の試算依頼や、私学共済へ年金額の試算依頼を出した教職員もいることから、これもセミナー受講の一つの成果ではないかと感じております。

少子高齢化が進み、社会保障等さまざまな将来の不安を抱える中、定年後の長い人生をどう過ごしていくかは、自助努力が欠かせなくなってきました。本学院では職種形態が多様化しており、各職種により待遇も異なります。学院としては、今後も教職員一人ひとりに対して早い段階で人生設計を考えることの重要性を認識してもらうことや、将来の生活設計を考えるきっかけとなる情報を提供していくことが、課題であると考えています。課題解決に向け、今後は受講内容はもちろん、掲示内容・方法の見直し、教職員に限っていた受講対象者を、教職員の家族に拡大する等を検討していきたいと思っております。

(学校法人上智学院 人事局人事サービスグループ 岡口 由希)

